学校番号	407

令和８年度　芸術(美術)科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術１（光村出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実際に本物を目で見て季節や光、匂いを感じとり「絵画・彫刻」で表現する。また、目的や機能から考える「デザイン」、伝統的な技術を身につける「工芸」、感じ取ったことを考える「映像メディア表現」「鑑賞」の分野について学習します。
・自分なりの感じ方や見方、表現を深め、さらに違った見方を「鑑賞」で共有することにより、更に広がった感性を高めてほしいです。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫など自分なりに捉えることを理解する。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表しているか。	感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現ができる。また、伝えることや使うことなどの目的や機能などを考えた表現ができる。作者の心情や意図と創造的な表現の工夫，自然と美術の関係や生活や、日本の美術の歴史や美術文化などについて考えることができる。	造形的な見方・考え方を働かせ，主体的に作品などからよさや美しさなどを感じ取り表現することができる。 自己を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどを主体的に表現する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	モダンテクニック	グラデーション ゼンタングル スクラッチ デカルコマニー コラージュ	a:線の強弱や絵の具などの特性を生かすことができているか b:身近なものの特徴や美しさを基に形や色彩、質感などの効果を考えることができるか c:身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に主体的に取り組むことができたか	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品
2学期	人物クロッキー	人物を描く 生徒の中からのモデル2名を順番に描く 8分 6分 5分 と時間を短くする	a:構図や表情、線の強弱の効果、全体のイメージなどを捉え、特性を生かして表すことができたか b:人物の印象などをもとに、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする c:自己や他者の内面を人物画に表す創造活動に、主体的に取り組むことができたか	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品
	陶芸	陶芸用の粘土で小物入れをつくる 形をつくる 掘る 削る 装飾する	a:形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージなどを捉え、粘土などの材料の特性を生かすことができたか b:形や質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができたか c:楽しんで粘土で表す創造活動に、主体的に取り組むことができたか	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品

3学期	デザイン	キャラクターのデザイン 素敵なアイテムをもったキャラクターを考える	a:キャラクターの形や色、性格を表すポーズや持ち物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す b:伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする c:伝えたい情報やイメージをキャラクターとして豊かに表す学習活動に、主体的に取り組む	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度